

旭ファイバーグラス株式会社 様

Notes/Domino バージョンアップにより Notesの動作速度30%向上を実現！



FIBER + GLASS
旭ファイバーグラス
 吉野石膏グループ

所在地 東京都千代田区
 神田鍛冶町三丁目6番地3 神田三菱ビル
 設立 1956年11月1日
 資本金 50億3,600万円
 従業員数 488名（2019年12月31日現在）
 事業案内 グラスウール製造（断熱材・建材）、
 工業材料製造（ガラス繊維強化樹脂等）

旭ファイバーグラス株式会社様（以下、旭ファイバーグラス）は、住宅や建築物に使われるグラスウール断熱材・吸音材をはじめとした工業材料で国内トップシェアのメーカーです。2007年から製造・販売している「アクリア」は、発がん性物質「ホルムアルデヒド」を含まない日本初のグラスウールです。その安全性と健康への配慮は国際的にも高く評価され、「アクリア」からさらに改良を重ねた「アクリアα」シリーズは、2014年度「省エネ大賞」の「資源エネルギー庁長官賞」を受賞。さらに「アクリア」は、日経BP社が刊行する「日経ホームビルダー」の『採用したい建材・設備メーカーランキング2019』断熱材部門において、6回連続1位に選ばれました。旭ファイバーグラスは、「快適な環境づくり」を使命に活躍されています。

BEFORE

課題

- ①リリース直後のDominoバージョンにアップすることへの期待と不安
- ②サーバーハードウェアとOSのメーカー保守終了がせまる
- ③長年のNotes/Domino利用によるデータ量増加とレスポンス低下

旭ファイバーグラスは、グループウェアのNotes/Dominoをバージョン4.0から利用しています。この度、Domino用サーバーハードウェアとOSのメーカー保守終了が近づいたことから、情報基盤としてNotes/Dominoを使い続けるか、他社製品へ移行するか検討した結果、Notes/Dominoを継続利用することに決定しました。理由は、メールや掲示板、予定表、稟議書ワークフローをはじめ、ERPとのデータ連携、工場の品質管理業務、従業員の目標管理等をNotes/Dominoで運用し、情報基盤として深く根付いているからです。

ソフトウェアのバージョンは、Domino9を継続利用し、ハードウェアのリプレースのみを考

えていました。しかし、新しいバージョンがリリースされることを知り、「定着しているNotesを今後も活用していくには、ソフトウェアも最新のバージョンに」という思いから、Domino10へバージョンアップを決断しました。

『ITベンダー数社へ、Domino10バージョンアップ・ハードウェアのリプレースについて相談しました。その中で、当社のNotes業務を熟知したパシフィックシステムから、リリース直後のDomino10に対する具体的で安心感のある対応策と、課題であったレスポンス低下の改善提案を受けたことから、パシフィックシステムに決めました。』（情報システム部長 本田氏）

AFTER

解決

- ①入念な事前調査とテストで準備万端
- ②メーカー保守終了までの限られた期間でバージョンアップ完了
- ③Domino10バージョンアップ・リプレースで動作速度が30%向上

パシフィックシステムは以下のように解決しました。

・事前検証

Domino10がリリース直後であることから、テスト環境を構築し、アプリケーションDBの事前検証とカスタマイズされたDBの設計調査を実施し、安全にバージョンアップできることを検証しました。

・バージョンアップ

長年Notes/Dominoを利用してきたため、蓄積したデータが2TBありました。サーバー停止時間を最小限にしつつ、データ移行とDominoバージョンアップを安全に行いました。

・Dominoサーバー

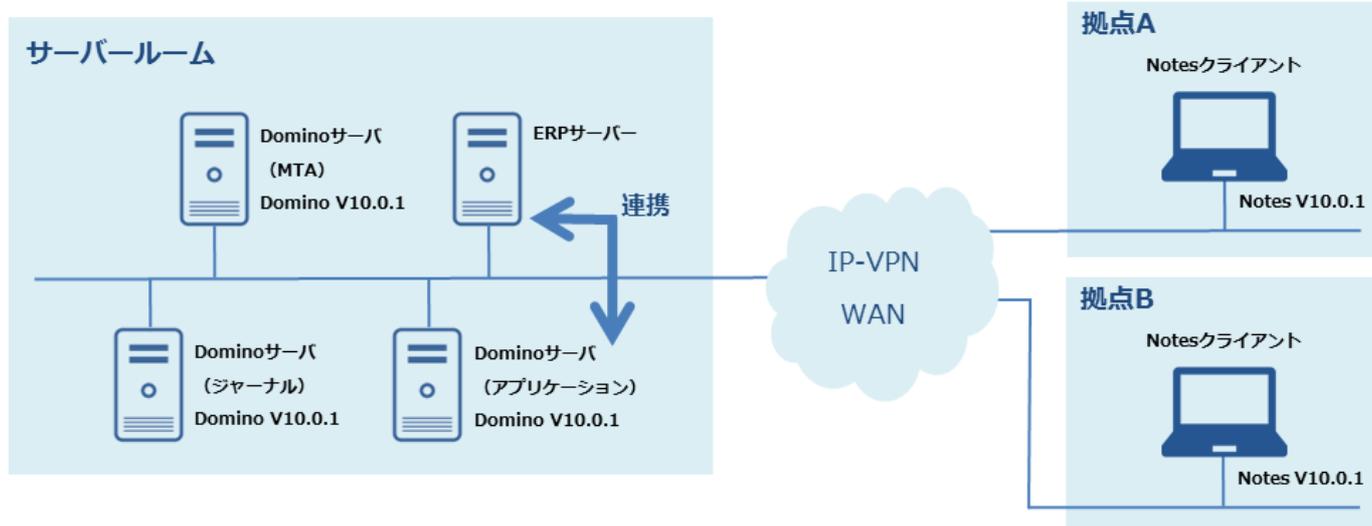
現在の利用状況、過去のデータ増量履歴を分析し、将来にわたって安心して活用できるスペックを決定しました。

・Dominoライセンス

iPadによるNotes利用（HCL Nomad*1）を予定していたことから、「期限付きライセンス」をいち早く提案し、ランニング費用を抑えることができました。

*1：HCL Nomad：モバイル端末上で既存Notes/Dominoアプリケーションをそのまま動作させるモバイルアプリ。

Notes/Domino ハードウェア構成



NotesアプリケーションDBの活用例

- ・メール ・ 掲示板 ・ 予定表 ・ 稟議書ワークフロー ・ ERPとのデータ連携
- ・ 品質管理業務システム ・ 目標管理システム など、アプリケーションDB数 計230個

パシフィックシステム アピールポイント

1. 経験豊富な技術者からの確かなアドバイスをします
2. 利用状況に基づき、サーバースペックを最適化します
3. バージョンアップ・リプレース以外のNotesの悩みを併せて解決します

EPISODE

課題

- ① 手動による毎月の作業に手間がかかり、作業ミスも心配
- ② データ量が2TBもあり、新しいサーバーへのデータ移行が不安

解決

- ① 自動化処理をNotesで実現、手動作業不要で作業ミス0
- ② 万全の移行計画で、安全にデータ移行を実施

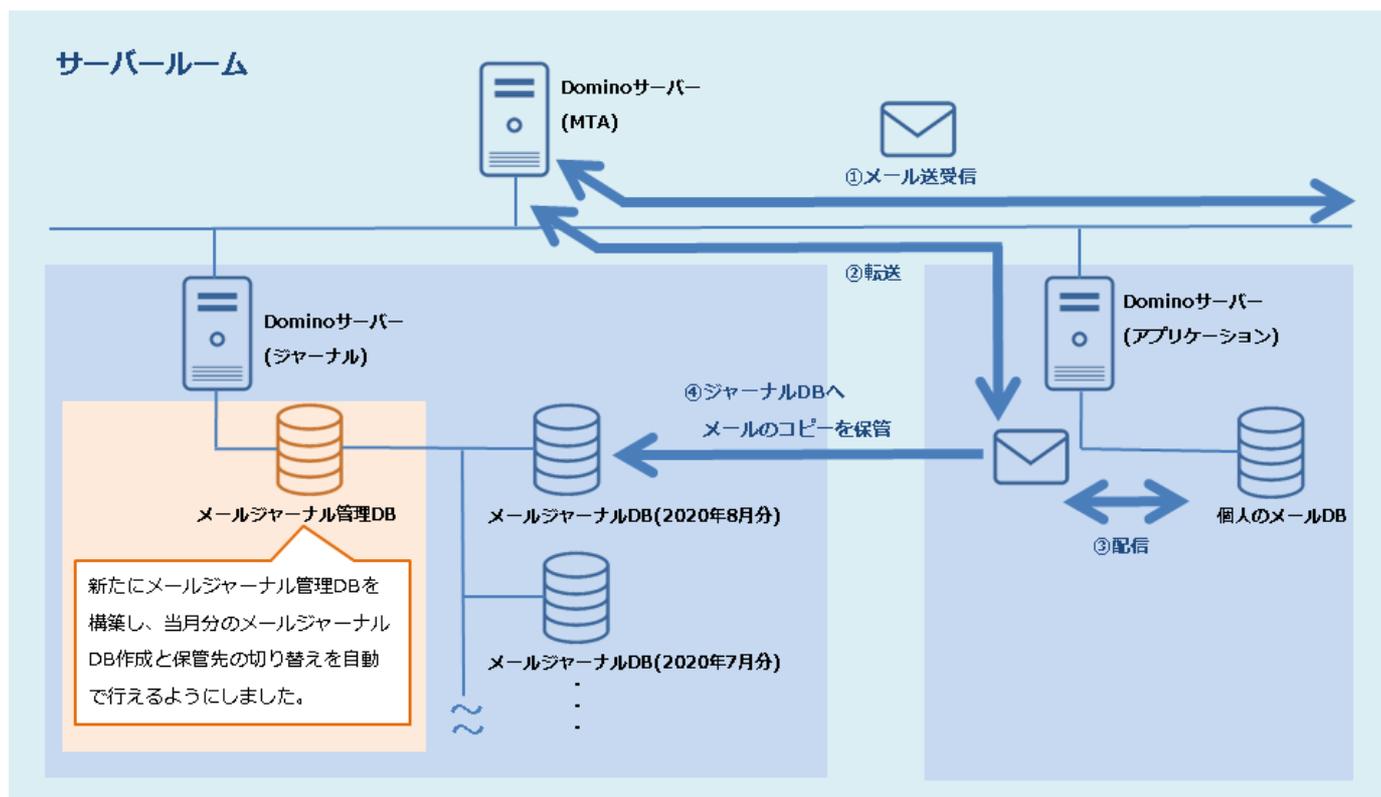
旭ファイバーグラスでは、社外・社内問わず、すべてのメールを証跡として保管することを運用ルールとしています。すべてのメールは、Notes/Dominoの機能を利用してメールジャーナルDB（以下、ジャーナルDB）へコピーし、保管しています。1つのDBで保管するとデータ量が膨大になるため、担当者が毎月新しいジャーナルDBを作成し、保管先を切り替える作業を手動で行っていました。打合せ時に、そのことをパシフィックシステムの技術者がお伺いしました。そこで、毎月の新しいジャーナルDB作成と切り替え作業を自動化する「メールジャーナル管理DB」を新たに構築し、手動作業の全自動化を提案をしました。

『毎月の切り替え作業が自動化されたことにより、業務の省略化と作業ミス防止を実現することができました。とても助かっています。』（情報システム部主席 松本氏）

また、長年の利用で、Dominoサーバ（ジャーナル）には、2TBのデータが蓄積されていました。通常だとデータ移行によるサーバー停止時間がかかりますが、移行時間が長くなることで、旭ファイバーグラスの業務に支障が出ないように、データ量の多さを考慮した移行計画を策定しました。閲覧頻度の低いジャーナルDBを事前にコピーするなど、分割して作業を実施することで、サーバー停止時間を最小限に抑えつつ、バージョンアップを安全に実行しました。

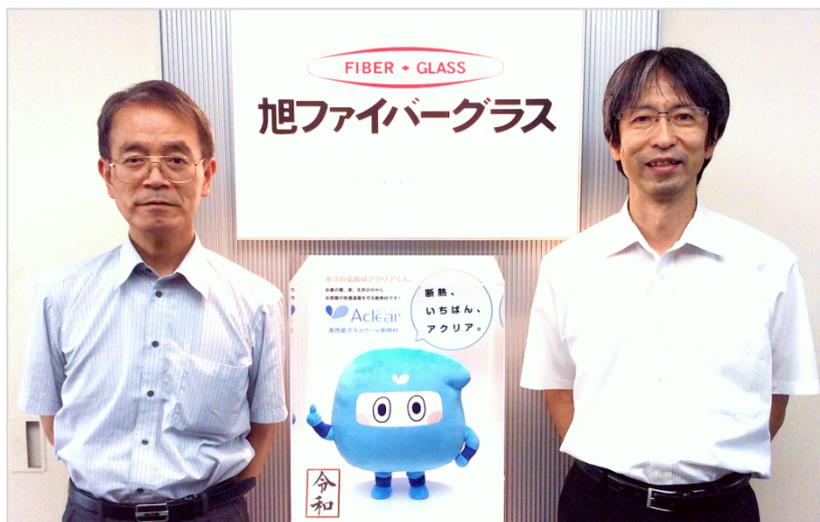
『安全性重視の作業と、ユーザーへの配慮に大変満足しています。このような急なお願いにも、パシフィックシステムは親身に相談のしてくれました。Domino10バージョンアップ・リプレースと一緒に、運用開始日に合わせて柔軟に対応頂きました。』（情報システム部長 本田氏）

メールジャーナル管理DB運用イメージ



旭ファイバーグラスからひとこと

Domino10バージョンアップ・リプレースと併せて、Notes/Dominoのレスポンスが改善できたことで、Notesクライアントの動作速度が体感で30%程度向上しました。社内でも「画面レスポンスが速くなった」との声を聞くことが多く、従業員のNotes/Dominoに対する満足度が上がったと感じています。また、パシフィックシステムと契約しているNotes/Domino保守サポートによって、疑問点や不安な点をいつでも問い合わせることができるため、毎日安心して運用できています。



写真左：管理本部情報システム部長 本田 達也 氏、写真中央：アクリアくん、写真右：管理本部情報システム部 主席 松本 充広 氏

パシフィックシステムからひとこと

旭ファイバーグラス様は、メール・掲示板、ERPとのデータ連携や工場の品質管理業務など、常時稼働する重要なアプリケーションをNotes/Dominoで運用されていることから、本プロジェクトでは、Dominoサーバーの停止時間を最小限にすることを第一としました。情報システム部の方々にお力添え頂き、スムーズなDominoバージョンアップ・リプレースを無事成功できましたことに感謝いたします。レスポンス改善により従業員の皆様にも喜んで頂き、大変嬉しく思っております。

Notes/Dominoが日本に上陸して以来、パシフィックシステムでは、ワークフロー・SFA/CRMパッケージ「SELICA」・上長承認メール・目標管理などのNotesアプリケーションを構築し、自社の情報基盤としております。また、長年の経験と技術力を活かし、ソリューション販売をしています。

これからも旭ファイバーグラス様のビジネス・イノベーションに貢献できますよう、保守サポートを含め、ご支援・ご提案を続けてまいります。

(2020年8月本導入事例作成)


PACIFIC SYSTEMS


つくるのは 未来

パシフィックシステムは、ビジネス・イノベーションの基盤となる最適なITソリューションを提供することにより、お客様の企業価値向上を支援しています。

お問い合わせ先



パシフィックシステム株式会社 営業1部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4丁目5番1号 さくら室町ビル

TEL : 03-3548-8556

メール : sales1@pacific-systems.co.jp

URL : <http://www.pacific-systems.co.jp/>